



馬の学校

馬の学校通信

2014. 3 vol.53

発行 馬の学校

事務局 〒468-0007 愛知県名古屋市長区植田本町 3-1105-302 TEL/FAX:052-805-2920

E-mail: mine@horseschool.org ホームページ: http://www.horseschool.org



春のプログラム 参加者募集!

馬とのふれあいプログラム (服部緑地乗馬センター)

- ① 日程: 4月5日(土) 午前9時~11時
 対象: 小学2年生~高校3年生(定員4名)
 内容: ブラシがけ・乗馬(成馬にてレッスン)
 馬小屋掃除・にんじんあげ
 参加費: 1人¥8,000(現地集合・解散)/1回
- ② 日程: 4月6日(日) 午前9時~10時30分
 対象: 3歳~小学2年生(定員6名)
 内容: ブラシがけ・乗馬(ポニーにて引き馬)
 馬小屋掃除・にんじんあげ
 参加費: 1人¥5,000(現地集合・解散)/1回

★お申し込みは、会員の方は3月12日(水)から、一般の方は3月14日(火)から、携帯電話(090-9867-5611)、メールにて事務局まで!(留守電の場合は、お名前と希望プログラムをお伝え下さい。折り返し、こちらからお電話いたします。)

2014年度会費納入のお願い

2014年度の会費納入につきましては、同封の郵便振替用紙にて、あるいは下記の口座番号までお願いいたします。

(いずれかをお選び下さい)

<子ども会員・家族会員・大人会員>

プログラムに参加される方・通信の発送を希望される方

年会費 1,000円

<賛助会員>

馬の学校を応援して下さる方(プログラム参加・通信の発送も含む)

賛助年会費 3,000円~

<郵便振替 口座番号・加入者名>

0930-4-83224 馬の学校

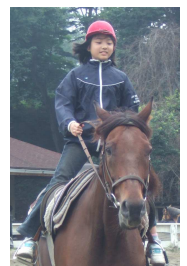
*会員特典: 優先申し込み/年末にはカレンダーをプレゼント!

馬が教えてくれること⑧

~リーダーであるためには~

乗馬では、馬に対して乗り手がリードする必要があります。何をするかを決めるのは、乗り手です。でも、馬の気持ちを無視して、「走れ!」「とまれ!」と一方的に、あるいは強引に伝えるだけでは、馬は聞く耳を持たないでしょう。人と馬の間には合図が決まっているので、それをわかりやすく伝えることが大切になります。強すぎても、弱すぎてもだめなのです。たとえば、止まれの合図は手綱を引くのですが、弱すぎれば、馬は手綱を引かれたことに気づかないかもしれません。また強すぎれば、手綱がつながっているはみで口元を痛め、痛みから逃れるために反抗するかもしれません。また、速歩の合図を出しながら、怖いからといって手綱につかまっていると、止まれの合図も同時に出してしまうことになり、馬は混乱してしまいます。さらに、馬にうまく伝わらず、自分の思いとは別の動きをしたときには、きちんと伝わるまであきらめない気持ちも大切です。ここで「まあいいか」とそのままにしておくと、馬は勝手なことをしても許してくれる人と思うでしょう。一方で、馬が指示に従ったときにはほめることも忘れてはいけません。

このようなやり取りを通して、馬に「この人といったら安心」「この人の言うことなら聞こう」と思ってもらえるような関係ができることが理想です。このことは、馬との関係の中だけでなく、人と人との関係の中でも大切なことではないでしょうか。どんなリーダー(上司、先輩など)だったらついていこうと思えるか、ということを考えてみると、馬に対してどんなリーダーであるべきかが見えてくるかもしれません。



難しいけれど、うまくできたら嬉しい!





馬のおもちゃ④ ぬいぐるみ

ドイツのぬいぐるみメーカー、NICI（ニキ）の馬のぬいぐるみです。優しい表情の馬でお座りができ、お腹にはおへそ、足には蹄鉄まで付いています。友人からプレゼントでいただいたのですが、毛色が似ているために「ミルクィー」と名付けました。娘に「ミルクィーくんによしよしして」と言うと、鼻面をそっと撫でてくれます。最近一緒に絵本を読んだりして遊んでいます。



馬 おすすめの本

『銀の匙』 荒川弘 著 少年マガジンコミック

北海道の農業高校を舞台としたお話で、生き物にかかわる楽しさと厳しさがよくわかるマンガです。都会っ子で優等生だった主人公が、悪戦苦闘しながらも、新しい世界を掴んでいきます。主人公が馬術部に入部するため、馬とのかかわりの場面も多くあり、ばんえい競馬も登場します。馬術部の顧問の先生曰く、「自分に合った馬に乗るのは楽しいですけど、馬の個性に自分を合わせていく乗り方も面白いですよ。」



馬の郷土玩具（2）



今年^{ことし}は^{うまだし}午年、前号^{ぜんごう}に引き続き、馬^{うま}の郷土玩具^{きょうどがんぐ}を紹介^{しょうかい}していきたいと思^{おも}います。

＜八幡馬＞

青森^{あおもり}・八戸^{はちのへちほ}地方^{ちほう}は、古^{ふる}くから、南部^{なんぶ}馬^{うま}の産地^{さんち}として名^な高い土地^{とち}です。そこ^{そこ}に伝^{つた}わる郷土玩具^{きょうどがんぐ}「八幡馬^{やわたうま}」は、カツラ材^{さい}などをナタ^{なた}やノミ^{のみ}で馬^{うま}の形^{かたち}に削^{けず}って彩色^{さいしよく}し、たてがみ^{たてがみ}と尾^おを施^{ほどこ}した木彫^{きぼり}りの馬^{うま}です。雪^{ゆき}深い冬^{ふゆ}に、農家^{のうか}の副業^{ふくぎよく}として作^{つく}られたのが始^{はじ}まりと言^いわれています。八幡馬^{やわたうま}は、花嫁^{はなよめ}が乗^のる馬^{うま}を模^もしたもので、胴^{どう}の千代紙^{ちよがみ}は華^{はな}やかな盛装^{せいそう}を、点線^{てんせん}は馬鈴^{ばれい}を表^{あらわ}しています。

＜忍び駒＞

縁結^{えんむす}びや子宝^{こたから}を祈願^{きがん}する使^{つか}いとして慕^{した}われてきた「忍び駒^{しのこま}」。馬頭観世音^{ばとうかんぜおん}をまつた花巻^{はなまき}・円万寺^{えんまんじ}に約^{やく}600年前^{ねんまえ}から伝^{つた}わり、現^{げん}在^{ざい}も、手^てで刈^かり取^とった稲^{いな}わらを材^{ざいりよう}料^{てつく}に手^て作^{つく}りされています。昭^{しょう}和^わ41年^{ねん}の午年^{うまだし}には年賀切手^{ねんがきって}のモチーフにも採^{さいよう}用^{えんむす}されました。縁結^{えんむす}びなどの祈願^{きがん}には、夜^{よる}、人目^{ひとめ}を忍^{しの}んで裸^{はだか}の駒^{こま}を観音堂^{かんのんどう}に供^{そな}え、願^{ねが}いが成^{じょうじゆ}就^{じゆ}したら、そ^その駒^{こま}を持^もち帰^{かえ}って色布^{いろぬめ}や鈴^{すず}で飾^{かざ}り、ひそかにお礼参^{れいまい}りするの^{なら}が習^なわしです。



参考文献：天然生活 2014 年 2 月号

馬 編集後記 3月に入り少し暖かくなりほっとしたのも束の間、また寒さが戻ってきました。

この春から、まずは馬とのふれあいプログラムを再開します。幼児向けのプログラムも新たに開始、小さな子どもたちの感じる心を大切に、進めていきたいと思っています。乗馬についてはポニーでの引き馬となりますが、合図を出したりしながら、ゆったりと乗れるようにと考えています。なお開始時間が 10 時から 9 時に変更されていますのでご注意ください。ファミリープログラム、ウマキャンプについては、再開時期はまだ未定です。

娘は無事に 1 歳の誕生日を迎え、最近はずせと歩く練習をし、20 歩ぐらい一人で歩けるようになりました。日々何かに挑戦していて、成長しようとする力はすごいなあと感心するばかりです。本人の挑戦を見守り、うまくできたら一緒に喜ぶことで、次への挑戦につながるのだと感じます。 (峯崎 友香理)

